

# 市長と語ろう！タウンミーティング 報告書

令和2年2月8日（土）13:00

北秋田市交流センター 1階 講堂

## 【出席者】

津谷 永光 （北秋田市長）

### 秋田北鷹高校

小畑 優悟 （おばた ゆうご）

金 夏海 （こん なつみ）

佐藤 ゆめ実 （さとう ゆめみ）

庄司 志歩 （しょうじ しほ）

中嶋 杏莉 （なかじま あんり）

### 能代高校

鈴木 隆誠 （すずき りゅうせい）

長岐 光瑠 （ながき ひかる）

### 大館鳳鳴高校

佐々木 彩佳 （ささき さやか）

津谷 智子 （つや ともこ）

### コーディネーター

武田 昌大 （トラ男プロデューサー）

### 司会

三沢 聡（北秋田市総合政策課長）

（敬称略）

他、参加者20名



## 1. 開会

### **三沢課長**

それではこれより、「令和元年度 市長と語ろう！タウンミーティング」を開会いたします。

本日の進行を務めます総合政策課の三沢と申します。どうぞよろしくお願ひします。

はじめに、津谷市長から皆さんにあいさつがあります。

## 2. 市長あいさつ

皆さんこんにちは。今日は雪が降ってお足元の悪い中、またお忙しい中にもかかわらず参加していただきありがとうございます。

特に高校生の皆さんは、部活や学校活動で忙しい中にもかかわらず、参加していただいてありがとうございます。心から感謝申し上げます。

このタウンミーティングは、昨年度から趣向を変えまして、テーマを決めてトーク方式で行っております。昨年度もいろいろお話をさせていただき、その時に出されたアイデアや気づきを、何とか我々行政としても生かせることがないのかと、実はあの時 SNS を使った市の広報が必要ではないかというご提言をいただきましたが、それを実現しました。

日頃北秋田市で生まれ育った高校生の皆さんが北秋田市をどう思っているのか、これからどうあるべきかというのを気楽に話してもらっていただきたいと思います。我々大人の目線で気づかないところを皆さんの視点で教えていただいたり、いろんなサジェスチョンをいただければと思っています。

先ほど聞いたら、少し緊張しているとのことなので肩の力を抜いて、そしてコーディネーター役を武田昌大さんをお願いしています。私は年齢的には皆さんのおじいちゃんになってしまいますので、比較的若くて皆さんの年代に近い武田さんがコーディネーター役をしてくれます。武田さんはいろんな方々との触れ合いを通じて、地域おこしやまちおこしを頑張っている人ですのでいろんなことを教えていただければと思っています。

どうか、今日は実りあるトークディスカッションにいただければありがたいと思っています。これからの北秋田市、次世代を担う皆さんですのでどうか有意義な時間を過ごしていただければと思います。

重ねて今日ご参加いただきました皆さんに感謝を申し上げて私からのご挨拶といたします。今日はよろしくお願ひします。

## 3. コーディネーター紹介

### **武田さん**

武田と申します。ついさっき新幹線で帰ってきました。雪の多さにびっくりしています。

私は、鷹巣町出身で、鷹巣小学校、鷹巣中学校、大館鳳鳴高校に進学しました。20年ぐらい前は皆さんと同じ高校生でした。その後は、関西の大学に進学して東京のゲーム会社で働きましたが、26歳の時

に秋田を元気にしていこうと思って秋田を元気にする会社を立ち上げて、東京と北秋田市を行き来して仕事をしています。今日は私自身も皆さんの思いを聞くのを楽しみにしていますので、今日はよろしくお願ひします。

#### 4. 高校生自己紹介

##### **武田さん**

トークディスカッションに入る前に、皆さんに自己紹介をしてもらおうと思います。

1人1分から2分ぐらいで、最近あった良いことを自己紹介に入れてもらいながらお願ひします。

ちなみに、僕が先週あった良いことは、私立恵比寿中学の方々と一緒に仕事をする機会があって、サインもいただいて、今度ラジオにも一緒に出ることになったというのが最近の楽しかったことになります。

こんな感じで何気ないことで良いので、楽しかったことを一つ入れていただきながらお願ひします。

では、順番は母校である大館鳳鳴高校の佐々木さんからお願ひします。

##### **佐々木さん**

大館鳳鳴高校の佐々木彩香（ささきさやか）です。最近あった良いことは、この間の土曜授業で学校に行く時に、いつもと違うバスに間違えて乗ってしまったのですが、乗っているおばあちゃんが間違っているよとすぐに教えてくれたことです。間違えたことは自分にとっては不運なことではあったのですが、地域の人の温かさを感じることができたのでとても良かったです。

##### **佐藤さん**

秋田北鷹高校の佐藤ゆめ実（さとうゆめみ）です。最近あった良いことは、2月6日が誕生日だったのですが、友達からお菓子などを一杯もらえて嬉しかったことです。

##### **中嶋さん**

秋田北鷹高校の中嶋杏莉（なかじまあんり）です。最近あった良いことは、昨日午前で学校が終わったのですが、いつも一緒に学校でご飯を食べているみんなと一緒にラーメンを食べに行けたことです。

##### **鈴木さん**

能代高校の鈴木隆誠（すずきりゅうせい）です。最近あった良いことは、この間の夜ご飯にバジルのスパゲッティを食べたのですが、バジルの良さに少し目覚めて、バジルの料理を自分でいっぱい作って食べていることです。バジルを家で作ってみようかと考えています。

##### **庄司さん**

秋田北鷹高校の庄司志歩（しょうじしほ）です。最近あった良いことは、テニス部のマネージャーをしていて、東北インドアという大会に新人チームで出て、初めてチームが一つになれたというのを味わえたのがとても嬉しかったです。

##### **長岐さん**

能代高校の長岐光瑠（ながきひかる）です。最近あった良いことは、僕は10年ぐらいジャニーズの嵐のファンで、この間12月に、活動休止を発表してからのラストライブに行くことができたのが嬉しかったことです。

## 津谷さん

大館鳳鳴高校の津谷智子（つやともこ）です。最近あった良いことは、さっき考えていたことと違うのですが、私も嵐が好きでシンパシーを感じたので話そうと思います。私も 11 月に嵐のコンサートに行けて、活動休止前に家族でライブに行けたことが良かったことです。

## 金さん

秋田北鷹高校の金夏美（こなつみ）です。最近あった良いことは、なかなか会うことができなかった「はとこ」と会って、たくさん話をしたり遊んだりできたことです。

## 小畑さん

秋田北鷹高校の小畑勇悟（おばたゆうご）です。最近あった良いことは、最近集めていた漫画がようやく最終回で、いい終わり方だったことに感動したことです。漫画が単行本として出るのが 2 か月後なので、その間待つてようやく見ることができました。

## 5. トークディスカッション

### 武田さん

ありがとうございました。

楽しいことを想像しながら笑顔になれたかなと思います

ではここから、メインのトークディスカッションに入ろうと思います。

皆さんには、三つのテーマについて、1分から2分ほどで自由に発表してもらいたいと思います。

一つ目のテーマは「あなたが思うこのまちのセールスポイントは何ですか、またそれを売り込むためにはどのようにしますか」

発表の順番は逆回りをお願いします。

### 小畑さん

一つ目は、空き家が多いことは弱点ではなくて逆に良い点だと思っていて、秋田県は教育に力を入れていると感じているので、住みたいと思う人は結構いると思うし、自営業をしたい人がリフォームしたりして、結構北秋田市からいろんなところに広めていけると思うので空き家を使えばいいと思います。

それを売り込むためには、SNS から発信していけばパンフレットやホームページよりもいろんな人に広まりやすいと思います。

二つ目は、教育環境と自然環境の面で売り込めばいいと思います。学校の授業で、移住定住を課題研究として進めていましたが、他の班の発表で、教育環境の面でいろんな所から移住を考えている人が結構いるという話を聞いていたので、秋田の教育面での良いところを実際に住んでいる人やこれから住もうと考えている人の意見を聞いて、その意見を SNS に挙げて良いポイントを広めていけば、北秋田市の知名度がもっと広がっていくのではと考えました。

### 金さん

私が思うセールスポイントは、雪で遊ぶことや自然が豊か、星がきれい、お米がおいしい、遺跡がある、平和、土地がたくさんある、アート作品や美術品があるです。

私は、北秋田市の良いところをぎゅっと詰め込んだ CM を作ればいいと思いました。CM を作れば北

秋田市の人だけではなく他の県の人たちにも北秋田市の魅力を伝えることができました。

土地がたくさんあるというのは、空き家があるというさっきの発言と関連するのですが、東京だと土地が高いけど、こちらは土地がたくさんあって東京に比べると安いので、購入しやすかったり新しいことを始めたりする人には良いのではないかと思いました。

### 津谷さん

このまちのセールスポイントは食や農産物だと思います。自然が豊かでおいしい食べ物がたくさんあって、観光や移住定住においても、食の魅力は大事なポイントになると思うのでセールスポイントになると思います。

具体的には、北秋田市の農産物や商品を集めたイベントを行ったら良いと思います。市外の人や県外の人が良く知っているメジャーなものや地元の人しか知らないマイナーなものも集めて、もっとこのまちの魅力を知ってもらえるようなイベントができれば良いと思いました。

### 長岐さん

北秋田市のセールスポイントは林業です。林業を広めるためにはイベントを開催し、木材の加工や工作体験、木材家具の販売や木材アート作品を作って、その出来栄を評価する大会などを開けば広まっていくのではないかと思いました。

観光の面では森吉山の樹氷を売り込むと良いと思い、一年中どの季節も観光客を集めることができると思うので観光ツアーを考えました。特産品についてはバター餅やルデセール、シントウチョコがあり、このお菓子はどの世代にも人気があるお菓子なので、県外などで販売を行ったりして知名度を上げれば良いと思いました。

### 庄司さん

私が思う北秋田市のセールスポイントは二つあります。一つ目は観光で、春の合川春祭りや夏の阿仁・合川・前田・鷹巣で行われる花火大会や灯籠流し、秋の紅葉、冬のスキーや樹氷など、四季折々ここでできないことがたくさんあります。これらを全国の多くの人に発信するためには、人から人へ良さを伝える必要があるので、SNS、特に Twitter（ツイッター）や Instagram（インスタグラム）に #（ハッシュタグ）を付けた投稿を、観光に来てくれた人にしてもらうように呼びかけたら良いと思います。

二つ目は教育で、教育を移住定住につなげることを考えましたが、その時に北秋田市のことを調べたら、支援制度がとても充実していたので、もっと知ってもらったり教育実習生を呼び込んだりすれば、県外や海外の人にも教育の良さを知ってもらえると思います。そして気軽に体験できるような制度を整えることで、教育面のアピールになるのはもちろん移住定住を考えるきっかけにもなると思います。

### 鈴木さん

北秋田市のセールスポイントはバター餅があると思います。一番初めに小学校の頃に食べたのですが、すごいおいしかったのでセールスポイントとしても良いと思います。最近は和菓子が好きな人がいっぱいいると思いますが、和菓子は 30・40 歳代にはあまり食べられていないみたいで洋菓子のほうが好きという人が多いと思います。調べたところ、ハワイアンバター餅というのがあるようで、外側がカリッとしていて中がバター餅というもので、焼くという工程があることから洋菓子的であるし、和菓子より洋菓子の方が人気があるというデータもあるので、洋菓子として作った方が和菓子より売れるのではないかと思います。

最近 YouTube（ユーチューブ）で北秋田市の CM が流れていました。北秋田市からはじまる奇跡の樹

氷ストーリーというのが広告で出ていました。CM は見ただけでいろんな情報が分かるので CM は売り込み方としては良いものだと思います。

### 中嶋さん

伊勢堂岱遺跡を PR すれば良いと思います。理由は、自分がジュニアボランティアガイドで携わっていたからです。せっかくお客さんが来てくれても、話を聞くと場所が分かりにくいとか、内陸線でも行き方が分からないと言っている人がいたから、道を分かりやすくしたらいいと思いました。小ケ田駅から遺跡までの道は分かりにくく、横断しなければならないところもあるので、もっと安全にしたら良いと思いました。

そして、ジュニアボランティアガイドやワーキンググループの存在をもっと知ってもらえるようにしたら良いと思いました。ガイドがいたほうが遺跡を楽しめるので、ガイドがいるから行ってみようと思ってもらえるようにしたら良いと思います。

また、グッズをもっと増やしたり、広告を張り出したりしたら良いと思います。秋田県だけではなく世界遺産登録を目指すグループで、他県にもポスターを張れば良いと思います。近いうちに世界遺産登録になると思うので環境を整備したらお客さんも増えてくれるのではないかと思います。

### 佐藤さん

私は阿仁のマタギを PR していけば良いと思いました。市役所の方から、県外からマタギ体験をしたいと観光や移住定住をしている人がいると聞いたし、漫画でマタギのことに関連するのを見た人がマタギ体験してみたいと言っている人がいたので、マタギ体験を北秋田市の HP や空港などにポスターを張ったり、Instagram 等でも広めたりしていけば良いと思いました。

課題研究で他の班の人が言っていたことは、内陸線での一日旅です。自営業やカフェとかをやっている人がいるので良いと思いました。また、森吉山の樹氷などの PR 動画を作って行けば良いと思いました。

### 佐々木さん

一つ目が伊勢堂岱遺跡で、近いうちに世界遺産登録になるので、世界に北秋田市の存在を発信できるし、日本だけではなく世界中から北秋田市に来ると思うので、パンフレットを作るにあたっては、英語表記等グローバルな感じで活動してほしいと思います。もう一つは自然で、森吉山や北欧の杜公園など自然が豊かだと思うので、四季折々のツアーを開催して欲しいと思いました。

### 武田さん

ありがとうございました。

たくさん意見が出てましたので、市長から発言をお願いします。

### 市長

ありがとうございました。

まず感心したのが、メモを書ききれないほどの意見をいただきましたし、北秋田市のことをよく勉強してくれているし、日頃からしっかりと問題意識をもって暮らしているんだなと思いました。やっぱりこれだけ北秋田市のことを思っているということは、魅力がある反面まだまだ手をかけていかなければいけないことがあるんだなということを皆さんから気づかせていただきました。

SNS の発信について、YouTube の話がありました。もっと活用して動画をみてもらう、Instagram の # (ハッシュタグ) をつけて拡散してもらうことでフォロワーが増えるだろうし、いろんな形で北秋田市

をPRしていけるのかなど。これをやれるのは皆さんのような若い感性だと思ったので、これから生かしていきたいと思いました。

空き家が多いという話がありましたが、北秋田市では空き家バンクということで公開しています。よそから来る人が、空き家を直す場合の補助や引っ越すための費用の補助をしています。平成 27 年から 30 年の間に移住定住の累計として 82 世帯 106 人ぐらいの人が来てくれていて、年間約 40 人の人が来てくれています。マタギ文化に触れてみたいということで、国内だけではなく海外からも家族を連れてきている方もいます。これは、他のところにはない大きなツールだと思っています。

CM を作るという話もありました。我々行政は発信が下手であることから、地域おこし協力隊の方が来てくれていて、彼らの目から見てこの地域で暮らす我々が気付かないようなものを映像にしてくれたりしているのもっと力を入れていきたいと思っています。

特産品、食べ物に魅力があるというお話もありました。秋田といえばきりたんぼと言われますが、それだけではなく、普段家庭で作っている料理等も売り出すことができるのではないかと考えています。よく言われるのは、秋田の人は外から来た人をととても良くもてなすと言われていて、例えば以前、七日市の長岐家住宅で昔お殿様に出していたお膳を料理として出したことがあり、とても珍しいと言ってもらいました。一つの例ですが、普段我々が口にすることができないものや普段我々が食べていてよその人からすれば珍しいことが売りになるので、空き家などを活用しながら、地域の婦人会の方々などをお願いして、毎日ではなくても、空港から何十人単位で来てもらって、サービスとしての対価をいただけるようなことも伸びしろになっていくのではないかと感じています。

森林について、北秋田市の 8 割が森林であります。国は使っていない森林を何とかして維持・活用しようとしていて、2024 年から森林環境譲与税として一人 1,000 円いただくこととなりましたが、それを森林のある地域に還元をしたいと、森林管理計画を作っています。北秋田市は、東京都国立市と友好交流都市締結を結んでいます。昨年国立市の子供たちと地元の子供たちと一緒に、北秋田市の山に記念植樹をしました。これは毎年来てもらって植えるだけではなく、下刈りをしたり手をかけていったりすることで両市の交流もありますし、山に対する関心を高め、ひいては北秋田市の山を活用できるようなことをやっていければと考えています。せっかくある資源ですので生かしていければ良いと思っています。

地域の伝統文化やお祭り、それぞれの地域の伝統行事は大切に残していかなければならないし、全部を見てくれというのは難しいとは思いますが、大館能代空港、内陸線、特急が止まる駅、高速道路と、鉄路陸路空路がすべて整っているのは日本国中でも珍しいところですので、それぞれの地域の良いものを生かしたツアーもできると思います。高速交通体系が整ってきていることに、ある旅行エージェントは、この地域にもっと打ち出していきたいという話をしていたので可能性が出てきています。今後将来的には、このようなことも仕事になり、雇用の場につながるのではないかと考えています。インフラ整備と資源の活用は今後の北秋田市のプラスになるものと思っています。

ハワイアンバター餅については、米粉で作っているもので、北秋田のバター餅はきちんともち米を蒸し

て作るというレシピがあり、北あきたバター餅として商標登録を受けているものです。これは一つの文化・売り物であります。最近の若い方々は餡子系よりクリーム系が好きだと思いますので、変化に富んだバター餅があってもいいと思います。

伊勢堂岱遺跡は、世界文化遺産に来年なるものと確信しており、内陸線小ケ田駅が遺跡のある駅として名前が変わるわけですが、その中で、小ケ田駅を降りた人が遺跡に行くまでのアクセスの在り方、もっと行きやすいように整備しなければならないという気持ちを持っています。インバウンドの人を含めて大きなスーツケースを持って来ている人がそれを預かる方法がないか、電車ではものを置く場所がないことが外国人に不評であるので、北秋田市ではインバウンドで売り込むとすれば、それも含めて考えていかなければいけないと思っています。グッズにしてもこれから脚光を浴びる遺跡なのでみんなから知恵をいただきながら進めていきたいと思っています。

漫画、マタギに関して、遺跡は世界文化遺産ですが、マタギに関しては日本遺産への登録申請を目指しています。日本で100か所を予定している中で、あと17か所とのことなので、滑り込めればいいなと思って申請をしています。日本遺産になってくれれば、マタギ文化や内陸線が生きてくるのかなと思っています。

英語だけではなくいろんな言語をとということでしたが、ポケットクのような多言語翻訳の機械もあるのでそういうのも活用していくべきと思いました。

以上、市長ばかりお話をしてしまいました。ありがとうございました。

## 武田さん

ありがとうございました。もう少し掘り下げていきたいと思っています。

セールスポイントについて、北秋田市の良いところを具体的に誰に向けて売り込むのが良いかというのを話していければと思います。みんなに向けて売り込むと、CMにしても何にしてもどう作ればいいのか分かりにくいので、誰に向けてセールスポイントを広げたいのかというのを話してみてもらいたいと思います。

例えば、伊勢堂岱遺跡ならどうでしょうか？

## 中嶋さん

親子連れの人たちにもっと来てほしいです。子供が伊勢堂岱遺跡に来たんだよって言ってくれるともっと広まっていくと思います。

## 武田さん

ボランティアをしているときは親子連れが多かったのですか

## 中嶋さん

東京から来た人で帰るときに寄って行く人がいました。親子連れが来ればもっと広まると思いました。

## 武田さん

マタギはどうでしょうか？

## 佐藤さん

マタギ文化って残していかないと消えちゃうので、小中高校生が勉強してくれば良いと思います。

## 武田さん

地元の人でなくても若い人に体験してもらって、「マタギいいな」って思ってもらって移住してもらってマタギになるっていう人もいらっしやいますね。

バター餅はどうでしょうか？

## 鈴木さん

バター餅は、高齢の方ってあまり食べない感じがします。甘すぎたりお腹にたまるという理由で。高齢者より若めの20代から30代の人だったら甘いものもいっぱい食べられると思うので。

## 武田さん

会場の皆さん、「バター餅食べてるよ」っていう人はどれくらいいますか？

意外と少ないですね。食べない方の意見はありますか？

## 市長

バター餅は、結構スポーツ選手の栄養補助食品として食べている人がいます。ただ、お餅なのでお腹にもたれたりカロリーオーバーのイメージがあったりするのでそんなに量を食べない。体を動かす人に差し入れしたりすると喜んでくれます。

## 武田さん

それこそオリンピックに向けて良いのではないですか？

## 市長

良いと思います

## 武田さん

オリンピックに向けて具体的に何かあるのですか？

## 市長

特にはないです。

## 武田さん

バター餅のイメージ、パッケージなどどうですか？

## 鈴木さん

結構簡素な、バター餅の色に近いパッケージを見るのですが、見たときにパッと印象が決まると思うのでパッケージは目立つよりおいしいと思える印象のほうが良いです。変な色にして奇をてらうよりだったらおいしそうと思えるものが良いと思います。

## 武田さん

樹氷はどうでしょうか？

## 長岐さん

樹氷はどの世代でも来て楽しめるツアーになると思います。富士山など景色で楽しめるものは全部の世代で楽しめると思います。

## 武田さん

この間、若い女性に「樹氷になんか何で行くの」と言われたので、若い人は興味ないと思っていました。イメージなのかも知れませんが、地元の人あまり樹氷を見に行かない感じがします。女子は樹氷のイメージはどうですか？行ってみたいですか？

(会場では、行ったことがない、特に行きたいと思っていないという反応)

女子はやっぱり行かないみたいですね…。

## 市長

樹氷って、出来るところが限られていて、森吉山を含めて日本三大樹氷といって、青森の八甲田山と山形の蔵王と、この森吉山でしか見ることができないものです。

## 武田さん

雪がない国の人たちが秋田によく樹氷を見に来るイメージがあります。今もたくさん PR していると思いますが、海外に向けて良いコンテンツなんだと思いますし、もっと地元の人にも愛されてほしいと僕自身は思っているので、若い人に向けて樹氷を広げていくアイデアがあれば、ぜひ今でなくても良いので高校生から出てくれば良いと思っています。

## 市長

スキーをやっている人であれば、森吉山に行く機会もあるし樹氷を見る機会もありますが、行くまでが大変なので何か行きやすいことを考えていかなければと思っています。

## 武田さん

スキー場までのタクシーもあるし、行きやすくなったとは思いますが。引き続き考えていって樹氷愛を高めていってほしいと思います。

セールスポイントを売り込むときに、どんな人に来てほしいのかを考えることで、より具体的なアクションが変わってくると思うので、そういったところを意識してもらえれば、北秋田市の魅力がもっと出て、伝わって行くのではないかと思います。

次のテーマに入りたいと思います。

「もしこのまちのために1億円を自由に使えるとしたら何に使いますか。」というテーマについて発言をお願いします。

では、金さんからお願いします。

## 金さん

一つ目は、美術館を作るということです。北秋田市にはチェーンソーアートや田んぼアートなど、他にもたくさん美術品や昔の歴史もあるので、そういうものを展示する場所があればたくさんの人に見てもらえると思いました。

二つ目は、アート作品などを体験したり遊んだりできる場所を作れば良いと思いました。理由は、学校の授業で2年生を対象にアンケートを取ったところ、遊ぶところが欲しいという意見が出たので、美術作品で遊んだりして自分たちで表現することができればいいなと思いました。

三つ目は、天体観測ができる場所を作ることです。自然が豊かで星がきれいなので、星が見れたら良いなと思いました。

四つ目は、気球やパラシュートができる場所があれば良いと思いました。課題研究の授業で自然に着目して研究したのですが、自然を生かして遊ぶ場所があったら良いと思っていて、気球やパラシュートがあ

れば、上から春夏秋冬どの時期でも北秋田市の自然を見ることができて、親子でもお年寄りでもたくさんの人が自然を楽しむことができると思いました。

### 小畑さん

一つ目は、道路の整備です。小学生が登校しているところを見ると、側道の幅が少し狭いと思ったりするのでもう少し幅を広げれば良いと思いました。あと、冬道は滑るので、歩道だけでもロードヒーティングを付ければ、登校するときも安心だと思いました。また、移住してきた方で雪道に慣れていない人が運転すると事故を起こす可能性があるので、ロードヒーティングにすれば事故の数も減るのではないかと思いました。

もう一つは、教育環境の関連です。中学校と高校生は、英検受験を市が負担して受けさせてもらうことができる取り組みがありましたが、英検以外にも漢検や数検なども年に1回中高生を対象に受験させれば、大学進学などにも有利になると考えました。

あとは、施設を充実させるという点で、レンタルショップが少ない気がするので、できれば増やしてほしいというのと、高校生が落ち着けるおしゃれなカフェのような場所があれば良いと思います。新聞で、動物が保護されるという記事があったので、カフェと保護された動物を合わせて動物カフェみたいな場所を作って、高齢者や高校生にも動物に触れあいながら一つの集いの場所を作るのが良いのではないかと思いました。

### 佐々木さん

企業誘致をして働く場所を提供すれば良いと思いました。理由は、働く場所を求めて県外に行く若者が多いと思うので、企業誘致をすることで地元に住んで地域の若者不足を改善できると思いました。大阪にアメリカ村というのがあるのですが、北秋田市も市全体のセットを作れば、日本中から人が来るのではないかと思いました。

### 佐藤さん

真っ暗な道をなくすために、街灯を付けたり歩道を整備したりして、交通事故の対策をすれば良いと思います。学校の授業で、下水道の普及率が100%ではないと習ったので、下水道を整備して環境面を整えれば良いと思います。

また、私は家だと集中して勉強できないので、コムコムもあるのですが勉強するところがあればいいと思いました。ファルコンは遠いので。

### 中嶋さん

内陸線をもっと多くの人に使ってもらえるように、1億円を使えたら良いと思います。内陸線を利用したときに、駅が老朽化しているところや駅の看板が落ちているところもあったので、そういうところを整備してもっと快適に使えるようにしたら良いと思います。

また、内陸線を使ったツアーに使ったり維持したりするためにいろいろな政策ができたら良いと思いました。

### 鈴木さん

イベントの開催や観光都市整備、集客力のある施設を作ることに使えたらと思います。イベントはやはり人が来るので、観光地に人が集まることはあるが、新しく観光地を作ることはお金がかかると思うので、今ある観光地をもっと良くすることが大事だと思っています。今あるものだったら、新しく作るもの

よりは簡単とは言わないが、ここをこうすれば良いというのが大体は分かっていると思うので、新しいものよりは今あるものを良くしていくことをしたいと思います。

また、イベントの開催について、昔、北欧の杜公園のクラシックカーのイベントに行ったことがあるのですが、秋田にこんなに人がいるのかというぐらい人がいてとても楽しかったので、イベントの開催をたくさんやってほしいと思いました。

### 庄司さん

誰もが北秋田市の自然を独り占めできて、「あんべいいな」と心から思えるような宿泊施設を作って、そこを利用したツアーをできるようにしたら良いと思います。ディズニーランドやUSJ(ユニバーサルスタジオジャパン)に行くとき別空間に入ったような気分になるんですが、自然も一緒に、自然に入った瞬間に別空間に入ったような気分になるので、別空間を作ればたくさん人が来るとし、ターゲットを年齢の人や仕事が終わってゆっくりしている人したツアーをやったら良いと思いました。

### 長岐さん

林業のイベントの運営費用や市の観光のPR動画、CMの撮影など話題性のある施設の設置に活用すれば良いと思います。商業施設やテーマパークは一定の割合で話題性や集客が見込めるが、それ以上に一番なのは一億円かけて作られたトイレだとか金で作られた銅像などの話題性があると、もっと集客ができて良いと思いました。

### 津谷さん

空き家の改修工事やそれを活用するために使えたら良いと思いました。空き家を改修して新しいお店や民宿をやると人もたくさん来るようになるし、雇用も増えるし、新しくお店をやる人の支援にお金を当てれば、市外や県外からも人が来て移住定住にもつながるのではないかと思います。

もう一つは保育所の建設に使ったら良いと思いました。待機児童の問題がこのまちにもあると思うし、子育ての環境を整えることで移住定住につながったり、今いる人ももっと住みやすくなったりするのではないかと思います。

### 武田さん

ありがとうございました。

もっと突飛なアイデアが出てくると思っていましたが、真剣にまちのことを考えてくれて、かなり具体的なアイデアが出ていたと思いますが、かいつまんでいいので市長のコメントをお願いします。

### 市長

1億円というお金に対して、夢のようなお話もあったのですが、地に足のついた考え方をしてくれていると思いました。この1億円がどのくらいの規模というのは難しいのですが、そんなにたくさんあるわけではないし、それを背伸びしないでみんなの普段考えていることを言ってくれたものと思います。

建物を新しくするのではなく今あるものを活用という話もありました。行政としては、必要なものを作ってきましたが、時間がたって老朽化してきました。壊すのもお金がかかるし、今あるものをどうやってあまりお金をかけないで維持していったらいいか、活用していくのかを考えていくのが行政の務めだと思っています。その中で皆さんからのアイデアを我々が拾えるもの、考えられるものを生かしていきたいと思っています。新たな視点で目を見張るような考えをいただきましたので参考にさせてもらいたいと思います。

ちなみに、北秋田市の保育園の待機児童は無く、うまくやっていますが、都会の方は待機児童の問題があるということなので、できる限りそういったことがないように手を尽くして頑張っていきたいと思います。

## 武田さん

ありがとうございます。

金さんの美術館や天体観測の話はとても良いなあと感じたところがあって、海外に北秋田市と同じようにほとんどが森林のところがあって、それを丸ごとホテルにしているシティがあります。そういうやり方もありだと思っていて、北秋田市の8割が森林なので、そこにホテルやテントなど森全体をホテルのようにして、マタギの体験や樹氷観光だったり森林の作品作りやアートだったり、逆転の発想で8割の森を施設にして非日常として活用するのも良いのではと思います。普通の田舎のまちに来て非日常を体験できない。だったら一層のこと森の中に入っていくぐらいのほうが都会の人にしても森に入っていく体験もなかなかないと思うので、そういったところは北秋田市にとっては面白いと個人的には思います。

せっかくなので傍聴席の皆さんから何かコメントありませんか？

## 聴衆

参考になるご意見をありがとうございます。一つお聞きしたいのですが、今の時代にコンビニやレンタルショップなど東京にあるものが地方にもあります。どこの地方に行っても東京と同じものがある。これまで、東京の真似をして失敗してきていると思うのですが、皆さんは都会にある全国チェーン的なものと地域の特別なものがあつたらどちらを選びますか？

## 庄司さん

私は地元のものを選びます。あまり東京のものは好きではないので。

## 長岐さん

秋田県はおいしいものが多いという点で、東京よりも秋田県のもが増えていくことの方が個性が出て良いと思いました。

## 津谷さん

地元のほうを選ぶと思います。都会にあるものは結構いろんなところにあつて、都会に行けば体験できるけど、地元ならではのものは大切にしていかなければならないものだと思うので地元を選びます。

## 金さん

地元のほうが良いと思います。東京より地元のほうが広々として生活が自由にできて良いと思います。

## 小畑さん

東京のほうが良いと思います。客観的にみて、東京にあるものって便利なものが多くて、こっちにあつたら絶対便利で、自分だと、レンタルショップに行くのに40分ぐらいかかるので、有名なチェーン店だとその味が楽しめるので、両立は難しいと思うけど秋田にもそういう店があるのが良いと思います。

## 武田さん

レンタルショップがあるから良いというのではなく、地元の人がやっている良いレンタルショップがあれば解決するのではないかと思います。多分、都会のチェーン店だから良いというのではなく、地元で自分の求めているお店がないということではないかと思います。昔、鷹巣にいたときにマクドナルドはな

かったけど、駅前にパナデリアアッキーがあったので全然良かったです。わざわざ大館に食べに行かなくてもハンバーガーを食べれました。チェーン店というよりは、地元それに代わる何があるのかが大事だと思います。

### **佐々木さん**

地元のものがいっぱいあればいいと思います。家族で旅行をしたときに道路を走っていると、これ鷹巣にもあるというのを見ることがあります。どこにでもある建物ばかり最近県外でも多く見るので、同じ建物というより地元特有の建物がたくさんあったほうが良いと思います。

### **佐藤さん**

東京のお店があれば良いと思います。こっちの方は物が少なくて都会のほうは必要なものがいっぱいあるので東京のほうが良いと思います。

### **中嶋さん**

地元の方が良いと思います。東京にあるものは東京に行けば買ったりできるし、大館に行ってもあるので、地元の方が地域住民の好みやニーズに合わせやすいと思うので、地元のほうが良いと思います。

### **鈴木さん**

東京にあるものが良いと思います。やはりここら辺にあるものは普段暮らしていればいつでもあるものですが、僕は東京に行かないので、東京にあってこっちにもあるというものは、それなりの流行っている理由もあるし絶対良いものであるはずだと思います。地元にあるものは、生活にありふれているものであって、身近にあるからこそ感謝の気持ちが薄れているかもしれませんが、東京から来たものの方が良いという風に考えています。

### **武田さん**

普段東京に半分くらいいますが、どこに行っても同じだし、絶対チェーン店ではご飯を食べないです。秋田では地元の飲食店で食べます。その方がおいしいので。チェーン店は飽きます。どちらかというところの土地のものを食べたいと思っています。東京にチェーン店が多い理由は、人がとにかく多くて便利なところで食事を済ませたいという人が多いからで、田舎ではそういうことがあんまりないし、ニーズとしてはおいしいものを食べたいという風に思っていると思います。

高校生の意見を聞いてどうでしょうか？

### **聴衆**

意外というのが事実です。みんな普段生活する上で、地元のことを考えているなあと思いました。決してチェーン店が悪いのではなく、便利さというのは地方では足りない部分かもしれません。それに代わる同じ便利さを地元でできれば良いのではないかと思いました。いろいろ深く考えてくれているのでこれから自分も深く考えたいと思います。どうもありがとうございました。

### **武田さん**

最後のテーマに移りたいと思います。「このまちの未来はどのようになれば良いと思いますか」というテーマについて皆さんに発表してもらいます。

## 小畑さん

今ある文化やモノや特色を引き継いでいきながら、便利なお店も充実させていって、進化していくまちであれば良いです。また、イベントも開いたり、いろいろ挑戦していきながら、地域の良さが国や県に伝わって、その良さが失われないようなまちになればいいと思います。

## 金さん

市民が北秋田市の魅力を挙げられるようなまちになれば良いと思います。2年生を対象としたアンケートで、北秋田市の良いところを聞いたけどあまり挙がってきませんでした。北秋田市の良いところや魅力って何だろうと話し合ったのですがあまり出てきませんでした。市民が地元の魅力をあまり感じていないと思ったので、地元の人が北秋田市の魅力を理解していけば良いと思いました。

## 津谷さん

雇用が増えて、北秋田市にいながらにして若い人たちがより多くの選択肢を持てるようになれば良いと思いました。雇用がないと県外に出ていく人が多くなると思うので、そこを改善することで、このまちに残ってくれる人が多くなるのではないかと思います。

また、北秋田市に移住して定住してくれる人がもっと増えると、このまちがもっと賑やかになると思いました。

## 長岐さん

地域の方々の支援があってこそ、まちが成り立つと思うので、地域の方々に愛されるまちになることと、もう一つは、以前市役所に行って移住定住についてお話を聞く機会があって、そこで北秋田市は移住支援の制度がある程度充実していると思ったので、そういうところをもっとアピールして移住者を増やすことでまちがもっと良くなると思いました。

## 庄司さん

今多くの若者が都市部に移住し、便利でキラキラしているような生活を夢見ている人が多いのですが、北秋田市はキラキラしたまちになるのではなく、北秋田市のみんなの心の拠りどころとなるような場所になるべきだと思います。でも、高齢者や都会から来た若者が、車がないと生活するのが大変だと感じないところであれば良いと思いました。車がなくてもバスやタクシーや配達サービスでより安心して生活できるような未来にたいです。

## 鈴木さん

将来も住んでいたいし、県外に出ていっても帰ってきたいと思えるような魅力のあるまちにしたいです。今のままでこのまちは好きなのですが、修学旅行で県外に行くとき人がいっぱいいるし、人混みが得意ではないので、人混みを経験すると秋田に早く帰りたいなあと心のどこかで思っていました。修学旅行から帰ってくると、静かだしゆったりしていて、故郷に帰ってきてやっぱりいいなと思いました。井の中の蛙ではないのですが、外に出ないとわからないと思うことがあると思うのですが、僕にとっては井の中のほうが良かったと思ったので、今のままで良いだけではないのですが、お店とかへのアクセスが良くなったり、秋田でも便利なお店を作ったりしていけば、秋田に合った人がいると思うのでそういうまちになれば良いなと思いました。

## 中嶋さん

もっと人が増えていたら良いなあとと思います。住む人も観光客もどちらも増えていて、今より活気に満

ち溢れる北秋田市になっていたらうれしいと思います。課題研究の中で、教育留学で来る人がいると聞いたのですが、せっかく来ても移住して定住するのが難しくて、帰っちゃう人もいるので、せっかく来てくれた人が移住して市の人口が増えたり、進学や就職で離れた人が戻ってきたり、観光で来た人がまた観光に訪れたいと思ってもらえるような北秋田市になるとうれしいです。

### 佐藤さん

誰が住んでも住みやすいまちになれば良いと思います。自分は県外に進学にしようと思っているのですが、帰省した時に良い意味で変わらないと感じるまちであれば良いと思いました。

### 佐々木さん

若い人たちが安心して帰って来れるような落ち着いたまちになれば良いと思います。私も落ち着きがあっていいまちだと思っているので存続してほしいのと、外国人を呼び込んで変化をし続けてほしいと思いました。少子高齢化は日本全体の問題で改善することは難しいと思うのですが、そこを日本でも多くやっていると思うのですが、外国人労働者を積極的に呼んで、北秋田市の良さを残しつつも新たな変化を起こしてほしいと思いました。

### 武田さん

ありがとうございました。

市長からひと言お願いします。

### 市長

ありがとうございました。

すごく感動しながら聞いていました。

移住定住で外から来てほしいし、観光にも来てほしいし、北秋田市の魅力をみんなが知ってもらえるようになってほしい、いつまでも大きく変わらなくてもここに北秋田市であってほしい、などというお話がありました。それぞれの皆さんの気持ちは、北秋田市を本当に愛しているんだなという気持ちです。

我々行政がやらないといけないことは、北秋田市を未来につないでいかなければならない、皆さんの時代そのお子さんたちの時代にまで、北秋田市をつないでいくということが大きな仕事だと思っています。

もちろん、市民の安心安全生命を守ることも地方行政の大きな仕事であるし、住民のニーズに応じていかなければならないわけですが、一番大きいのが未来につないでいくこと、皆さんの時代につないでいくことが我々の役目だと思っています。

今日は皆さんからお話を聞いて、本当にしっかり考えているんだなと思いましたし、これに応じていかなければいけないなと改めて思いました。ありがとうございました。

### 武田さん

ありがとうございました。

皆さんの話を聞いて、地域の良さ・地元の魅力というお話がありました。僕も小さい頃は田舎を全然好きではなく、東京にアコガれを持っていました。東京に出て暮らしたのですが、本当に満員電車が大変だったり、家も狭かったり、食べ物も高かったり、なんだかんだ言っても秋田がいいなあと感じたりします。

地元の人がどうやって地元の良さに気づくかっていうポイントですが、良いものを見つけるためには何かとの比較することで生まれると思います。良いところを見つけようと思ったら、他のまちや場所に移

動して自分たちのところと比較するのが一番簡単な魅力のを見つけ方だと思います。その人自身が移動するのが一番良いのですが、なかなか移動できない人もいると思うので、逆に外から人を呼び込むことが大事で、外の人たちにこのまちはここが良いよねと言ってもらうことが、地域の魅力に気づくポイントだったりすると思います。地域の人自体が外に行くか、外の人を呼び込むかの二つが、地域の良さに気づくポイントだと僕は思っています。

移住者をもっと増やしてほしいという意見がありましたが、実際には増えているのですが、たぶん皆さんは会っていないのだと思います。移住してきてくれている人たちと地域の人たちが顔合わせできる機会があったら、「こんなところから来ているんだとか」、「海外から来ているんだ」みたいな機会がないので実感していないのではないかと思います。僕は移住者の方とも会う機会があるので移住者が増えてきているんだなという実感はあったりするので、そういう接点があると良いなあと思いました。

雇用が増えるポイントについて、北海道北見市というところにサテライトオフィスというものがあります。北見市に住みながら Google (グーグル) の仕事ができたりします。東京の企業の仕事を地方でできるという施設があります。東京に行かなければ働けないというわけではなく、実は東京の仕事を地方でできる事例が全国的にも出来てきているので、東京の大企業の仕事をここで出来るというのも将来的には出来るのではないかと思っています。

## 市長

さっき移住者の方々などに個々の魅力を聞くという話があったのですが、昨年、東洋経済新報社の 2019 年の住みよさランキングという日本の 812 の自治体を調査した総合調査で、北海道東北ブロックの中で北秋田市は 5 番目、全国でも 82 番目という評価をいただきました。安全性や利便性の他に富裕度、つまり裕福かどうかという観点もありました。我々からすれば、都会の人がお金を持っていたり地価が高かったりすると思うのですが、さっきお話があったように、とても屋敷が広いし、自由に使える面積があるといったことや安全性、残虐な事件などが無いなどもあるのですが、そういった意味でも北秋田市をよその視点でみた評価がとても高い、これをもっともっと行政としても PR していかなければならないと思っています。

外からの刺激をいただきながらここに住んでいる我々が北秋田市の良さを、本当にそうかという実感が湧かなければ比べてみるということが必要だと思いますのでこれからの研究テーマにさせていただければありがたいと思います。

## 武田さん

ありがとうございました。

高校生からや傍聴席からもぜひ発言をしていただきたいと思いますが、何かありませんでしょうか？

(特になし)

では十分にお話しできたということで、最後にまとめとして市長から今日の感想と締めのご挨拶をお願いします。

## 6. 市長感想発表

## 市長

最後の時間となりました。さっきもお話ししましたが、高校生の皆さんがこの北秋田市を愛してくれているし真剣に考えてくれていることを感じたイベントでした。皆さんから出た意見や我々が気付かないことを何とか実現できるものは実現する方向で向かっていきたいし、その時にもしできれば皆さんからいろんなお知恵を出していただきたいと思います。

間違いなくこの北秋田市を皆さんの時代に引き継いでいかなければいけない、これが私たちの大きな役目ですので、皆さんの未来を信じながら一緒になってこの北秋田市を作っていければ良いと思いますのでよろしく願いいたします。

今日は本当に貴重な意見をありがとうございました。

## 7. コーディネーターまとめ

### 武田さん

ありがとうございました。

僕も皆さんの意見を聞いて、自分の頃の時代とどんどん変わっていると本当に思いました。北秋田市・秋田の教育の賜物だと思いました。こんな優秀な子供たちが育つ環境が素晴らしいと改めて感じたし、やっぱりそういうところが売りなのではないか、子供たちがより良く育つ環境、自然もあって教育もあってというのがこの北秋田市の良いところなのではないかと思いました。

まちを良くしていくというのは人任せではなくて、自分たち自身でやっていくというのがすごく大事だと思いますので、皆さんから出してもらったアイデアと一緒に僕たちで変えていくというぐらゐの動きをこれからやっていくと、これからよりまちが良くなっていくんじゃないかと思っております。

そろそろ予定のお時間ですのでコーディネーターの役を終えさせてもらって進行をお返ししたいと思います。ありがとうございました。

## 8. 閉会

### 三沢課長

ありがとうございました。

高校生の皆さん、武田さん、長い時間ありがとうございました。

ご来場の皆様からもう一度感謝の拍手をお願いいたします。

(拍手)

それではこれもちまして、令和元年度市長と語ろう！タウンミーティングを終了いたします。

なお、来週16日には「若手企業者と語る北秋田市について」をテーマといたしまして、タウンミーティングを予定しております。時間は本日と同じ午後1時からこの会場で予定しておりますので、是非お誘いあわせの上たくさんのご来場をお待ちしております。

本日は長時間ご清聴大変ありがとうございました。お帰りの際は気を付けてお帰りください。

どうもお疲れさまでした。



コーディネーター 武田 昌大 氏



佐々木 彩香さん (大館鳳鳴)



佐藤 ゆめ実さん (秋田北鷹)



中嶋 杏莉さん (秋田北鷹)



鈴木 隆誠さん (能代)



庄司 志歩さん (秋田北鷹)



長岐 光瑠さん (能代)



津谷 智子さん (大館鳳鳴)



金 夏海さん (秋田北鷹)



小畑 優悟さん (秋田北鷹)



